

# 令和7年度第2回埼玉県スマート農業普及推進運営会議 議事概要

## 1 日 時

令和7年9月11日(木) 10時00分～11時30分

## 2 場 所

オンライン及び埼玉会館3A会議室

## 3 出席者

【委員】青柳委員、中村委員、落合委員、石原委員、加藤委員、山中委員、榎本委員、山岸委員、河野委員、深山委員、鳥居委員、萱野委員、平野委員

## 4 議事概要

主として以下の意見があった。

### (1) スマート農業技術実演・展示会について

- 今まででは県の北側での開催で県の南側に住んでいる人は参加しにくかったかと思う。今年は川越ということで、南側の人が参加しやすくなった。開催地域を南北、東西など色々な地域を少しづつ回っていくのがよい。
- 今後の開催候補地に深谷市があるが、深谷市の Deep Valley と連携した技術の紹介などがあるとよい。

### (2) オンラインセミナーについて

- 11月下旬から12月上旬までは、小麦と大麦の播種時期と重なる。天候に気を使って作業する時期であるので、主穀作を対象とした内容の場合、開催日をその期間からずらしていただけすると参加しやすい。
- 三重県がトマト栽培の自動化で先行していると聞いている。今後、そうした先進県との連携も模索していただきたい。

### （3）フォーラムに代わる事業（現場視察ツアー）について

- ・ 集合場所について、最寄り駅を想定とのことだが自家用車を停めておける場所にもバスが寄ってもらえると参加しやすいと思う。
- ・ 今回の企画のターゲットは農業者と推察するが、関係機関からの申込が殺到しそうである。定員が30名だとすぐに埋まるのではないか。
- ・ 開催時期の1月下旬～2月上旬は露地野菜は収穫がメインの作業であり、スマート農機の現地実演は難しいのではないか。  
農研機構などの開発現場のツアーとして検討してみてはどうか。
- ・ 観察ツアーの開催に当たっては、まずはテーマ（技術項目・作目）を設定していくことで、他の観察先、考慮すべき点、イベント案などが決まっていく。  
テーマ設定に当たっては、1月から2月に開催となると、参加できる経営類型が絞られてくる。  
開催時期については、今後のこととなるが、複数回開催していくのも良いかもしれない。
- ・ 埼玉県ではこれまでに県独自で実証事業に取り組んでいる為、事業の成果を横展開していく時期と認識している。  
そのため、実証事業を行った経営体の現地に行って、実際に見に行くのも一つの方法と考える。
- ・ 新しいものを知っていただくことに主眼を置かれているものと思うが、一方で、施設園芸の農業者からは、導入したはいいが、うまく使いこなせていないという意見もある。そういう意見交換ができると、導入したスマート農機がちゃんと使えるようになる。
- ・ スマート農機具は、経営規模や品目によって取り組み易さに差があると思う。生産現場からこういった機械があったらうれしいというニーズはある。そういうアーティデアを募集してつなぐ企画を検討いただきたい。

### （4）その他

第3回協議会の開催は、令和8年2月から3月を見込んでいる。

以上